

食品循環資源のエコフィード利用に関して
乳酸菌を利用した発酵飼料

2008/12/15
エコフィード茨城協議会

当協議会では、茨城地域で利活用されていない、食品循環資源(いわゆる食品残渣)を、エコフィードとして有効活用する取り組みを行っています。

現在、干しイモ残渣などの食品循環資源を利用して、養豚事業にて試験給餌の実証事業を行っています。

<現場での取り組み>



干しイモの製造現場

皮の部分など、利用できない部分を手作業で分離しています。
エコフィードで再利用するため、丁寧に分別しています。



干しイモの残渣

手作業により分別された、エコフィードの原料となる、干しイモ残渣。
栄養価も高く、エコフィードの原料として適している。



乳酸菌を混ぜた干しイモ残渣

分別作業終了後の干しイモ残渣に乳酸菌を混ぜたもの。
この後、通い箱に集めて、空気を遮断して、乳酸発酵を行わせる。



乳酸菌発酵する干しイモ残渣

通い箱の中で、乳酸発酵している干しイモ残渣。
処理後2日目で、PHが4.2を切る状態になっている。

ここまでの作業は、排出サイトである干しイモ事業者で行われています。

干しイモ残渣は、分別作業後に乳酸菌を添加されて、乳酸発酵を行います。
乳酸発酵が行われることによって、腐敗の防止・危険な細菌類の繁殖が、防止されます。

干しイモ残渣などの食品循環資源を活用すれば、国内産の原料を利用して、国内の食品企業が行う、安全で確かなエコフィードを、養豚事業者に供給することが出来ます。



給餌されるエコフィード

干しイモ残渣を、1週間程度発酵させた、エコフィード。
栄養価も高く、養豚用の優れた飼料となっている。



給餌されるエコフィード

発酵飼料は、豚の食いつきも良く、消化されやすい飼料である。
また、乳酸菌による健康促進効果も期待される。

利用サイトである養豚事業者にとって、栄養価も高く、豚の好むエコフィードは、利用価値が高い。
また、輸入飼料と違い、安心・安全な国産飼料は、消費者へのアピールにも繋がるものであり、価格的にも安定しているエコフィードは、経営面でも効果が高い。

- * この資料は、エコフィード茨城協議会が所有するものです。利用や配布に当たっては、協議会の許可を得てから、行ってください。
- * この資料に使用されている写真及び文書の無断使用を禁じます。